



未定稿  
(R4.4.25版)

# 大阪・関西万博推進アクションプラン

---

政府の「2025年大阪・関西万博アクションプランVer.1」改訂に向けた要望

大阪府・大阪市

2022年4月

## 《目次》

I	アクションプランの策定にあたって	… 1
II	取組分野と項目	… 3
	1. 健康・医療	… 3
	① ライフサイエンス	
	② 次世代ヘルスケア	
	2. モビリティ	… 9
	③ 空飛ぶクルマ	
	④ 自動運転	
	⑤ MaaS(マース)	
	3. 環境	… 17
	⑥ カーボンニュートラル	
	⑦ 大阪ブルー・オーシャン・ビジョン	
	4. スマートシティ、スタートアップ	… 29
	⑧ スマートシティ	
	⑨ スタートアップ	
	5. 観光・文化	… 35
	⑩ 多様な都市魅力の創出・発信	
	6. おもてなし・利便性向上	… 41
	⑪ ユニバーサルデザインタクシー	
	⑫ 空港運用の強化	


## ⑥ カーボンニュートラル

温室効果ガス(CO2)の排出削減に向けては、ゼロエミッションモビリティを幅広く普及させることが重要である。万博会場へのアクセス等において、EV・FCバスや、EV・FC船を活用するとともに、広く大阪・関西への拡大をめざす。

テーマ	2022(現状)	2025(万博開催)	2030(万博後のめざす姿)						
ゼロエミッションモビリティの普及	<p>□EV・FCバスの導入数 府域で6台(2022年3月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ディーゼルバスと比較して高額であり、事業者の買い替えが進まず。</li> </ul> <p>(EVバス:約5,400万円(充電設備含む) FCバス:約1億円 ディーゼルバス:約2,700万円)</p> <p>【参考:現行の補助制度を活用した場合の負担】</p> <p>▷EVバス</p> <table border="1" data-bbox="539 810 987 903"> <tr> <td>国の補助 1/3</td> <td>府市の補助 1/3</td> <td>事業者負担 1/3</td> </tr> </table> <p>▷FCバス</p> <table border="1" data-bbox="539 943 987 1035"> <tr> <td>国の補助 1/2</td> <td>府市の補助 1/3</td> <td>事業者負担 1/6</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>バス対応の充電設備、水素ステーションが不足</li> </ul>	国の補助 1/3	府市の補助 1/3	事業者負担 1/3	国の補助 1/2	府市の補助 1/3	事業者負担 1/6	<p>万博会場</p> <p>会場へのアクセス等で活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夢洲⇄舞洲のパークアンドライドでEV・FCバスを活用</li> <li>・無線給電など新技術を活用したEVバスの試行運行(国等による社会実装プロジェクトの活用を想定)</li> <li>・EV・FC船による来場者の海上移動が実現</li> </ul> <p>□万博を契機に、府域でのEV・FCバスの導入を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・万博に向けて、府内バス運行事業者の導入が加速</li> <li>・充電設備、水素ステーションの整備が進展</li> </ul>	<p>□府域の路線バスの5割をEV・FCバス(更新分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・万博を契機にEV・FCバスの導入が進展</li> <li>・EV・FCバスの導入状況に合わせて、バス対応の充電設備、水素ステーションの整備が進展</li> </ul> <p>□EV・FC船の実用化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・EV・FC船が海上輸送や観光用などで運航</li> </ul>
国の補助 1/3	府市の補助 1/3	事業者負担 1/3							
国の補助 1/2	府市の補助 1/3	事業者負担 1/6							

## ⑧ スマートシティ

健康寿命の延伸や生活利便性の向上など、様々な課題解決に向けては、最先端技術の開発や新たなサービスを活用していくことが必要。万博における様々な実証の成果を未来に継承して、住民のQOL向上につながるスマートシティを実現することにより、大阪・関西だけでなく我国のSociety5.0の実現に大きく貢献することをめざす。

テーマ	2022(現状)	2025(万博開催)	2030(万博後のめざす姿)
先端技術を駆使したスマートシティの実現	<p>□住民QoLの向上をめざす「大阪スマートシティ戦略Ver2.0」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康寿命の延伸や生活利便性の向上などの課題解決に向け、幅広いデータの収集、連携、利用や、最先端技術の開発、活用を促進</li> <li>広域データ連携基盤の構築           <ul style="list-style-type: none"> <li>▷広域でのデータ連携のプラットフォームとして、大阪広域データ連携基盤(ORDEN)を構築</li> </ul> </li> <li>スーパーシティ構想の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>▷最先端技術の実証実験を街全体で行うスーパーシティ型国家戦略特別区域に指定(2022年4月12日閣議決定)</li> <li>▷2つのグリーンフィールド(夢洲・うめきた2期)で、万博に向けたモビリティ、ヘルスケア、工事の円滑化などの先端的服务の実証・実装を予定(~2024年)</li> </ul> </li> </ul>	<p>□万博を契機とした府域への未来都市の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ORDENの展開により、ヘルスケア・モビリティなどの先端的なサービスの普及</li> <li>デジタルによる利便性の高い行政サービスを実施</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>万博会場</b></p> <p><b>スーパーシティを活用し、万博で未来都市をいち早く実現</b></p> <p>◀モビリティ▶          ・万博までのアクセスや会場内において自動運転、MaaSや空飛ぶクルマ等ストレスフリーな移動サービスを提供(再掲)</p> <p>◀ヘルスケア▶          ・「大阪パビリオン」において、ヘルスケアデータに基づく食品提供や未来医療の疑似体験等を実施</p> </div>	<p>□デジタルサービスの広がりにより、便利で快適にいきいきと生活できる未来社会の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広域データ連携による住民利便の向上           <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ORDENを活用した多様なデジタルサービスの普及(観光・まちづくり・防災・産業・物流等)</li> </ul> </li> <li>ストレスフリーな最適移動社会(再掲)           <ul style="list-style-type: none"> <li>▷関西広域でMaaSが拡大</li> <li>▷自動運転の府域展開や空飛ぶクルマの一般航行</li> </ul> </li> <li>豊かに暮らす健康長寿社会           <ul style="list-style-type: none"> <li>▷健康、医療、介護など様々な分野サービスを繋ぎ高度化を図る次世代PHRを実現</li> </ul> </li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>

※スーパーシティ構想:「まるごと未来都市」の実現を、地域と事業者と国が一体となって目指す取組み



## 課題

- ▷万博会場内外で万博来訪者が先端的サービスを円滑に利用できるための高度な通信環境の確保
- ▷万博における先端的サービスを府域に展開するための大阪広域データ連携基盤（ORDEN）の機能拡充  
市町村及び民間との幅広い分野（医療・介護、防災、観光、交通など）のデータ連携・活用が必要であり、大阪広域データ連携基盤としてのORDENの機能拡充が課題。
- ▷万博に向けたスーパーシティ構想の推進  
万博での先端技術の実証実験をまち全体で行う2つのグリーンフィールド（夢洲・うめきた）での実証・実装の推進。



## 国に求める事項

- ▷万博会場内外での高度な通信環境の整備・充実（5Gの整備に向けた通信事業者への働きかけなど）
- ▷万博における先端的サービスの府域展開に向けた大阪広域データ連携基盤（ORDEN）の機能拡充のための財政支援
- ▷スーパーシティ構想の実現に向けた規制緩和及び財政支援  
**（夢洲コンストラクションでの局所的な気象予報や貨客混載に関わる法規制等の緩和など）**

<p><b>「2025年大阪・関西万博アクションプランVer.1」における記載</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代空モビリティの社会実装に向けた実現プロジェクト&lt;経産省&gt;</li> <li>・空飛ぶクルマの実現に向けた環境整備の推進&lt;国交省&gt; ・自動配送ロボットのサービス提供&lt;経産省&gt;</li> <li>・ロボットフレンドリーな環境の実現&lt;経産省&gt; ・Maasなどの新たなモビリティサービスの推進&lt;国交省&gt;</li> <li>・自動運転の一層の推進&lt;デジタル庁・内閣府・警察庁・総務省・経産省・国交省&gt;</li> <li>・地域データの可視化によるデータ連携・データ利活用の推進&lt;内閣府&gt; ・Beyond 5G ready ショーケースの実現&lt;総務省&gt;</li> </ul>
--

<p><b>府・市の取組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府・市による「スマートシティ戦略 ver2.0」の推進</li> <li>・大阪府・市によるスーパーシティ構想の推進</li> </ul>
---